Contents

ご挨拶 1

ご祝辞 2

沿革と歴史 4

社内制度と社内行事 6

感謝状・表彰状 8

社屋建設のあゆみ 12

各課紹介 14

写真で振り返る50年のあゆみ 18

未来への決意～100年企業に向けて～ 52

新ロゴマークデザイン 54



旧ロゴマーク

社名の由来

創業者が「日本において日々栄えていく企業となること」を願って命名

ご挨拶



創立50周年に際しまして、ご挨拶を申し上げます。

日栄地質測量設計は、令和３年８月24日を持ちまして、創立50周年の節目を迎えることができました。これもひとえに、さまざまな形で支えてきてくださったお客様をはじめ、ご関係の皆様のおかげであり厚く御礼申し上げます。また、これまで事業発展の礎を築いていただいた諸先輩の方々、さらには、現在、事業活動に多大なご尽力をいただいている従業員の皆様に改めまして深く感謝申し上げます。

当社は、地域に根ざした総合建設コンサルタントとして、半世紀にわたり安全・安心・快適な社会資本整備にお客様の多種多様なニーズにお応えするべく、日々、技術研鑽を重ね良質な技術サービスを提供してまいりました。

この間、成長と発展への道のりは、決して平坦なものではなく、経済の不況期には深刻な経営危機に直面し、また、多発する自然災害では、東日本大震災をはじめとした激甚化する気象災害、加えて原子力発電所事故や新型コロナウィルス感染といった幾度の未曾有の事態に遭遇し、試練や困難な状況に見舞われながらも、全役職員が結束し窮地を乗り越え歩みを進めてまいりました。望まぬ険しい道のりを経てきたことは、多くの成果と貴重な教訓を蓄積することになり、その度に、足腰の強い企業へと成長してまいりました。

しかしながら、当社は、まだまだ発展途上の地域企業でございます。この創立50周年を機に、これからも地域社会に寄り添い必要とされ、信頼される企業であり続けるために、私たちは、これまで培ってきたノウハウと企業文化を承継しつつ、新たな価値を創造する企業風土を醸成しながら持続的成長を実現してまいります。

日栄地質測量設計は、100年企業を見据え明るい未来への一歩を踏み出しましたが、これからも更なる成長へ全社一丸となって邁進していく所存でございますので、皆様には、改めまして一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長　高　橋　　肇

ご祝辞



創　業　者
高　橋　信　雄

創立50周年、誠におめでとうございます。

大きな節目を迎えられましたことは、お客様や関係各位のご指導とご厚情の賜物と存じております。また、これまで会社発展に携わってこられた全ての方々のご尽力によるものであり、ここに感謝と敬意を表します。

改めまして、設立時の話をさせていただきます。私は、大学を卒業して建設会社に入社しましたが、次第に起業への思いが強くなり15年間お世話になった建設会社を退職し、その退職金を設立資金に充て、昭和46年、いわき市平三倉地内で狭い事務所を借りまして、男子２名、女子１名の人員で日栄地質測量設計株式会社をスタートさせました。

当時は、中古でライトバンを買いまして、毎日、県内全域の市町村役場と県関係事務所を歩き、「いわきにある日栄地質測量設計と申します。よろしくお願いします。」とピーアールの日々でありました。当然ながら、２年程は、入札に参加することが叶いませんでしたので、友人が経営する某社の測量業務を、手伝わせてもらいながら、官公庁から直接受注することを目標に、無我夢中で頑張っていたことを思い出します。

地道な営業活動は、少しずつ成果が現れまして、市町村から入札の指名を頂くようになりますと、後に、県関係からも指名が入り県内全域から指名を頂くまでになりました。更には高度経済成長期という時代の後押しもありまして、市場を拡張し業績を伸ばすことができ、設立時から念願であった社屋も建てることができました。

しかし、会社成長の道のりには、いくつもの障害により危機的状況に見舞われましたが、その都度、当時の役職員をはじめ、お客様や関係各位のご支援とご協力を賜りましたことで前に進むことができ、こうして50年の歴史を刻んでこれたと思っています。

今後は、近年の多発する自然災害や社会情勢を踏まえると、建設コンサルタントの役割は一段と重要性を増してきますので、引き続き、社会資本整備を通じて、地域社会に貢献し存在感を示していただければ幸甚に存じます。

結びに、日栄地質測量設計が更なる発展を遂げられますようご祈念申し上げまして、創立50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。





鈴　木　久　夫
（H18.5-H22.3 代表取締役社長）

襷の受け渡し－継続の重要性－

昨今の社会経済状況を考察するキー・ワードの一つが「SDGｓ」かと思われます。

社会資本整備の一翼を担う地域の建設コンサルタントも例外でなく、永年、事業を継続し、社員、協力会社の雇用を安定的に守ることは、経営の重要な事項であります。

本日、当社が創立50周年を迎えることが出来たことは、地球規模的な事柄でなくとも、非常に重要な事であり、意義深いことであると思います。

ここに、創業者の起業精神、諸先輩のご苦労に想いを馳せるとともに、感謝をし、皆さんと共にお祝い申し上げます。

私自身は50年の歴史の内５年有余の短期間ではありますが、関係者のご支援、社員の奮闘、協力会社のご協力により、次世代に襷を渡すことが出来ましたことは、安堵したとともに、皆々様に感謝しております。

一番の思い出は、就任すると同時に、現社長と、福島県下、東西南北、２日間で2000kmの顧客行脚です。今でも昨日のように想い出されます。

企業を取り巻く環境はいつの時代も厳しいものです。しかしながら、常に市場を分析し、顧客ニーズを把握し、技術の習得・研鑽に励み、そして品質管理を徹底すれば、途は拓けると思います。新入社員も、毎年、複数名入社との事、人材を大切にして、この50周年を次の100年に、襷を繋いでいってください。

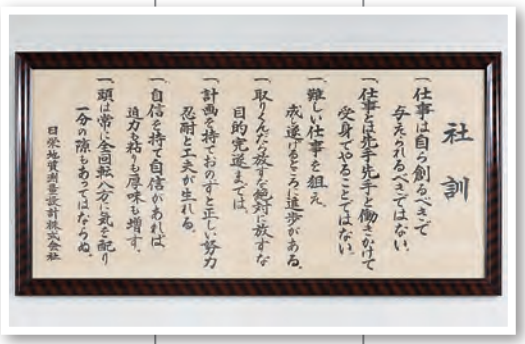


相　談　役
増　井　正　明
（H22.4-H27.7 代表取締役社長）

東日本大震災から10年、再生計画終了から５年が経過し、わが社は創業から50年を迎える。目指す百年企業への中間点。従業員満足度、顧客満足度地域ナンバーワンを標榜し、技術力の研鑽に日々努力を重ねる。役職員の対外的評価は真面目とされる。創業からの道程はけっして平坦なものではなく、これからの会社運営も努力が怠れない。株式会社の存在意義は利潤追求であり、その配分は税金、役職員への報酬そして社内利益留保。十数年前の債務超過会社から現在では超優良会社、そこには、地元金融機関の多大なるご支援が有ったことを永久に忘れてはなりません。社会資本の整備や迅速な災害復旧対応と地域企業の存在意義と役割は大きく、改めてこの機に全員でかみしめてみましょう。

沿革と歴史

項目	S46（1971）	S50	S55	S60	H1（1989）	H5
自社沿革 ※青色字は現在閉鎖事業所	●創業（S46.8.24）いわき市三倉 ●郡山営業所開設（S46.11）	●本社移転（S50.8）いわき市平作町 ●若松営業所開設（S53.9） ●原町営業所開設（S54.10）	●郡山支社に昇格（S57.7） ●東京支店開設（S57.10） ●仙台支店開設（S57.10）		●福島営業所開設（H2.6） ●茨城営業所開設（H4.7） ●宇都宮営業所開設（H4.9）	●山形営業所開設（H5.12） ●札幌支店開設（H5.12）
日栄の歴史	★創業（S46.8.24）	★本社社屋完成（S50.8）	●創立10周年（S56.8.24） ★郡山支社社屋完成（6F）（S57.7）		●創立20周年（H3.8）	★本社新社屋完成（5F）（H5.8）
代表取締役社長	高橋 信雄　34年（創業者 S46.8 ～ H18.4）					
取締役	取締役・常務・専務・副社長：三井 正三（S46.8 ～ H17.4） 発起人：高橋 信雄、高橋 栄子、藤川 健仁、西山 直伸、三井 省三、三井 廣子、伊勢 新一 以上7名 取締役：高橋 栄子、川和 宣宏、椎名 一明、岡田 元一 取締役・専務：渡部 好信（S55.4 ～ H3.3） 常務：長谷川 浩三（S55.4 ～ H1　） 取締役・専務：福田 幸生（S57.2 ～ H22.7） 取締役：瀬谷 一（S55.4 ～ S58.3） 会長：高橋 堯（S60.4 ～ H12.5） 副社長：荒川 透（S60.12 ～ H7.8） 取締役：七海 正喜（S59.3 ～ H1.3） 副社長：桑原 良泰（H2.8 ～ H9.12） 取締役・常務・専務：川野 繁治（H3.2 ～ H13.7） 専務：内藤 不二彌（H3.4 ～ H10.12） 取締役・常務：柴田 暉（H6.4 ～ H11.8） 副社長：宗像 四郎（H8.4 ～ H9.1） 取締役：佐伯 修（H2.4 ～ H3.8） 取締役：鈴木 孝（H5.6 ～ H11.8） 取締役：植杉 真人（H7.4 ～ H12.5） 取締役：高橋 恕雄（H9.4 ～ H17.4）					
日本・世界の歴史	▶カップヌードル発売（S46） ▶日本列島改造論（S47） ▶長嶋茂雄引退（S49）	▶ロッキード田中首相逮捕（S51） ▶成田空港開港（S53） ▶米スリマイル島原発事故（S54）	▶イラン・イラク戦争（S55） ▶ジョンレノン銃殺（S55） ▶日航機墜落（S57）	▶チェルノブイリ事故（S61） ▶国鉄民営化（S62） ▶昭和天皇崩御（S64）	▶平成に改元（H1） ▶消費税３％（H1） ▶ベルリンの壁崩（H1） ▶バブル景気（H2）	▶皇太子ご成婚（H5） ▶阪神淡路大震災（H7） ▶消費税５％ 山一證券倒産（H9）





発起人
役付役員
役　員
現役役員

H10	H15	H20	H25	H30	R1（2019） R3
		●白河営業所開設（H23.8）	●喜多方営業所開設（H26.6）	●仙台営業所開設（H30.4）	
●創立30周年（H13.8.24）		●創立40周年（H23.8）			●創立50周年（R3.8.24）

鈴木 久夫 4年（H18.5～H22.3）

増井 正明 5年（H22.4～H27.7）

高橋 肇 現在6年目（H27.8～R3.8）



常務・専務：植杉 文昭（H10.4～H17.8）

取締役・常務・専務・副社長・社長：高橋 肇（H10.6～）

取締役・常務：畠 良一（H10.6～H27.7.4）

常務：長尾 晃（H11.7～H17.4）

副社長：原 利光（H18.9～H20.7）

取締役・常務・専務・副社長：蛭田 浩仙（H20.7～）

取締役：坂本 洋（H19.7～H20.7）

取締社長・会長：増井 正明（H22.4～R1.7）

取締役・常務・専務：金成 金治（H22.7～R1.7）

取締役：酒井 亮治（H20.7～H21.12）

取締役：阿部 和之（H30.8～）

取締役：石田 洋之（H30.8～）

取締役：岩塚 一（H11.6～H17.4）

▶長野五輪（H10） ▶東海村JOC臨界（H11） ▶アメリカ同時多発テロ（H13）	▶東北楽天参入（H16） ▶新潟県中越地震（H16） ▶WBC優勝（H18） ▶郵政事業民営化（H19）	▶リーマンショック（H20） ▶オバマ米大統領就任（H21） ▶東日本大震災（H23） ▶自民復帰（H24）	▶消費税８％（H26） ▶熊本地震（H28） ▶トランプ米大統領就任（H29）	▶西日本豪雨（H30） ▶大坂なおみ全米オープン優勝（H30）	▶新天皇令和スタート（R1） ▶消費税10%（R1） ▶東京オリンピック（R3）

社内制度と社内行事

年	S46 (1971)	S55	S60	H1 (1989)	H5	H10	H15

社内制度・認定

- S46・8　運用開始　就業規則他規定制定
- H12・1　ISO9001取得
- H15・1　ISO9001:2000版移行　全社改善プロジェクト開始
- H19　社員表彰制度開始



H23.3.11　東日本大震災



公的表彰

R1.10.12-13　台風19号







式典

- S46・8・24　会社創立（いわき市平三倉）
- S56・8　創立10周年（いわき新瀧）
- H3・8　創立20周年（いわき平安閣）
- H13・8　創立30周年（記念コンペ宇津峰C）

社内行事等

- S53　社内旅行（秋田）
- S54　社内旅行（伊豆）
- S55　社内旅行（長野）
- S56　社内旅行（沖縄）
- S58　社内旅行（伊豆・熱海）
- S59　社内旅行（那須信州）
- S60　社内旅行（岩手平泉）
- S61　社内旅行（山形上山）
- S62　社内旅行（北海道登別札幌）
- H1　社内旅行（山梨）
- H2　社内旅行（山形）
- H3　社内旅行（栃木大金温泉）
- H4　社内旅行20周年（オーストラリア）
- H5　社内旅行（伊豆）
- H6　社内旅行（宮城）
- H7　社内旅行（アメリカ本土・ハワイ）
- H9　社内旅行（インドネシア・ハワイ）
- H19　優良部門・社員表彰

H20 H25 H30 R1 (2019) R3

H20・6 新出来高管理システム運用開始
H21・6 新給与テーブル運用開始 人事評価（ISOリンク）・
H22・8 役職定年制廃止
H23年度末 事業計画説明開始 決算手当支給開始
H24・6 1級建築士事務所認定 新人事評価開始
H25・8 本社・支社制強化復活 震災対応G制廃止
H26・7 新給与テーブル大幅改訂開始
H27・7 ドローンプロジェクト開始
H27・10 新ユニフォーム開始
H28・5 働く女性応援企業認定（第1号）
H28・6 健康企業宣言 新中期5カ年計画（2016）開始
H29・6 働き方改革（就業時間・残業・有給他規定改定）
H29・12 ISO9001:2015版移行
H30・7 新給与テーブル改訂開始
R1・8 新役職定義開始（再雇用・再再雇用・サポーター他）
R1・11 福島県健康経営優良事業所認定
R3・6 新中期3カ年計画（2021）開始

H23.3.11 東日本大震災

H20・8 東北地方整備局長表彰
H23・10 磐城国道所長表彰
H24・8 磐城国道所長表彰
H28・6 JRC優良協力会社表彰
H28・8 福島県優良業務表彰（設計）
H29・8◆ 福島県優良業務表彰（調査・設計）
R1・8◆ 福島県優良業務表彰（調査・測量）
R2・3 東北地方整備局長感謝状（災害）
R2・8 福島県優良業務表彰（調査）

R1.10.12-13 台風19号

※◆は県表彰2部門ダブル受賞

H20 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3

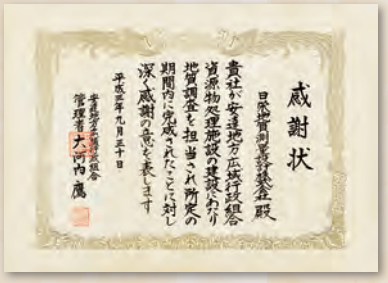
H20 優良部門・社員表彰
H22 優良部門・社員表彰
H23 優良部門・社員表彰
H24 社内旅行（山形天童） 優良部門・社員表彰
H25 社内旅行（北海道札幌） 優良部門・社員表彰
H26 社内旅行（沖縄） 優良部門・社員表彰
H27 社内旅行（九州長崎福岡） 優良部門・社員表彰
H28 社内旅行（東京鎌倉） 優良部門・社員表彰
H29 社内旅行（北海道函館） 優良部門・社員表彰
H30 社内旅行（京都・伊勢） 優良部門・社員表彰
R1 社内旅行（四国） 優良部門・社員表彰
R2 優良部門・社員表彰
R3 優良部門・社員表彰

H23・8 創立40周年
H26・8 創立43周年式典（石川母畑ホテル）
H27・8 創立44周年式典（ハワイアンズホテル）
H28・8 創立45周年式典（磐梯熱海ホテル）
H29・8 創立46周年式典（茨城五浦ホテル）
H30・8 創立47周年式典（岳温泉ホテル）
R1・8 創立48周年式典（小名浜オーシャンホテル）
R2・8 創立49周年式典（リモート）
R3・8 創立50周年式典（リモート）

兼全社研修会

感謝状

平成3年～



受賞年：平成３年
発注者：安達地方広域行政組合



受賞年：平成４年
発注者：いわき市長



受賞年：平成４年
発注者：会津坂下町長



受賞年：平成４年
発注者：富岡町長



受賞年：平成４年
発注者：昭和村長



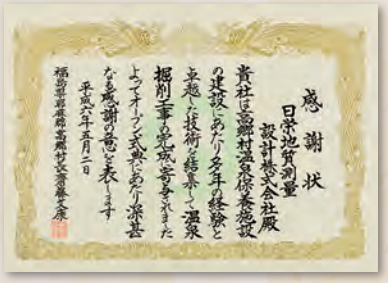
受賞年：平成４年
発注者：下郷町長



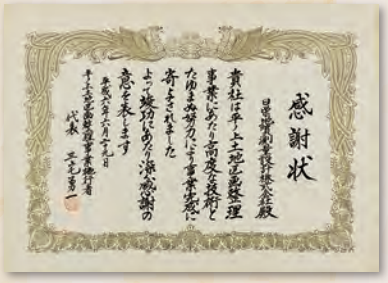
受賞年：平成５年
発注者：福島県体育協会



受賞年：平成５年
発注者：都路村長



受賞年：平成６年
発注者：高郷村長



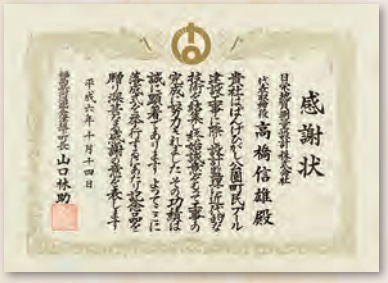
受賞年：平成６年
発注者：平ノ上土地区画整理



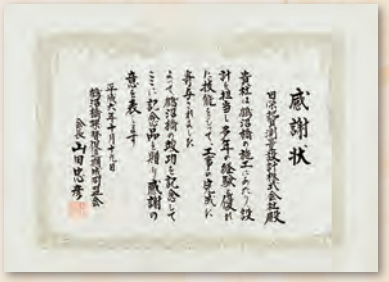
受賞年：平成６年
発注者：会津坂下町長



受賞年：平成６年
発注者：会津坂下町長



受賞年：平成６年
発注者：会津坂下町長

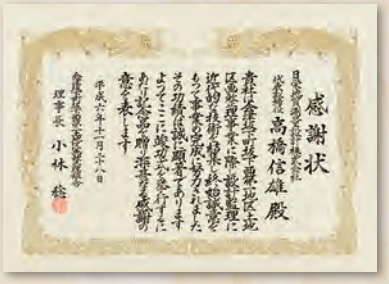


受賞年：平成６年
発注者：鶴沼橋架替同盟会

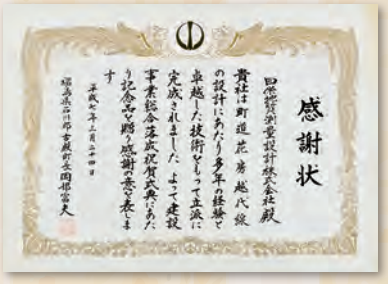
表彰状

平成23年

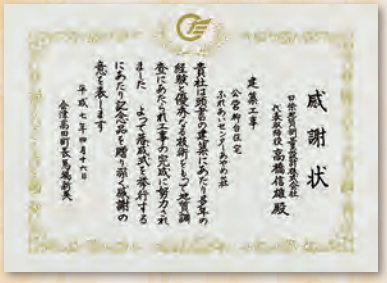

感謝状
高橋信雄殿
受賞年：平成６年
発注者：舘岩村長


感謝状
高橋信雄殿
受賞年：平成６年
発注者：会津坂下町土地区画整理

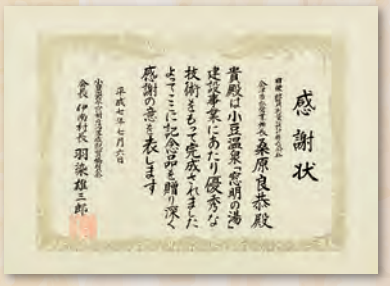

感謝状
受賞年：平成７年
発注者：平田村長


感謝状
受賞年：平成７年
発注者：古殿町長

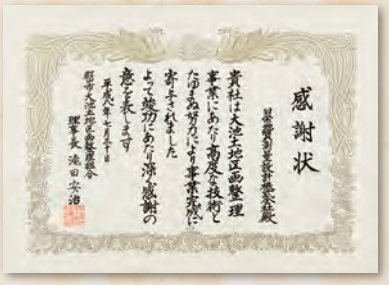

感謝状
受賞年：平成７年
発注者：天栄村長

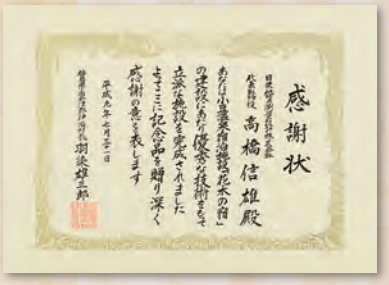

感謝状
受賞年：平成７年
発注者：会津高田町長

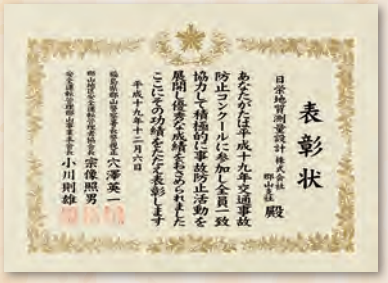

感謝状
受賞年：平成７年
発注者：新鶴村土地改良区


感謝状
受賞年：平成７年
発注者：伊南村長

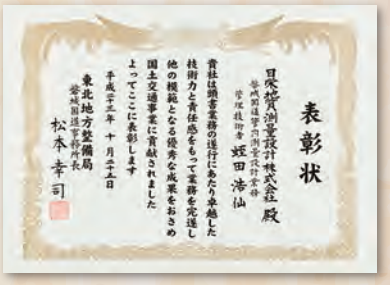

感謝状
受賞年：平成7年
発注者：石川町長


感謝状
受賞年：平成8年
発注者：大池土地区画整理


感謝状
受賞年：平成9年
発注者：伊南村長


表彰状
受賞年：平成19年
贈呈者：郡山警察署長


表彰状
受賞年：平成20年
発注者：国交省東北地方整備局

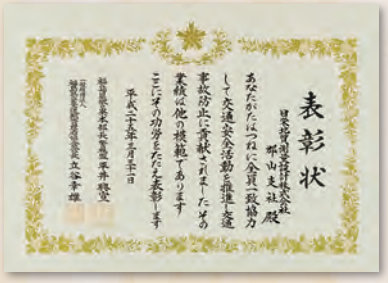

表彰状
受賞年：平成23年
発注者：国交省東北地方整備局

感謝状

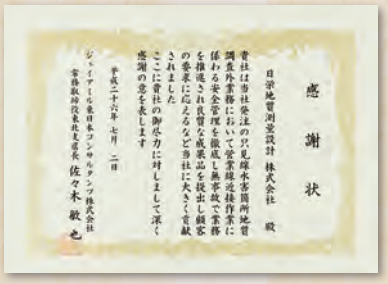
平成24年



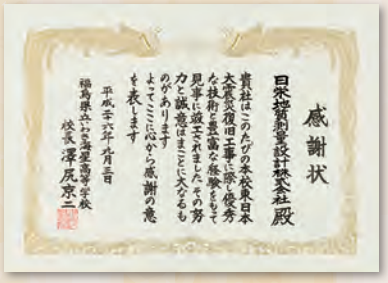
受賞年：平成24年
発注者：国交省東北地方整備局



受賞年：平成25年
贈呈者：福島県警察本部長



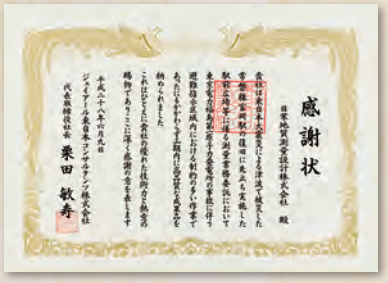
受賞年：平成26年
発注者：JRC東北支店長



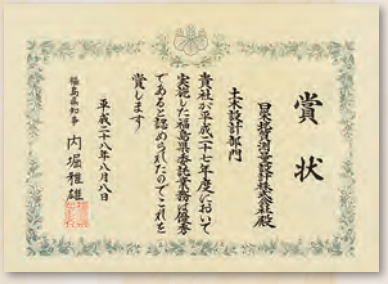
受賞年：平成26年
発注者：いわき海星高校長



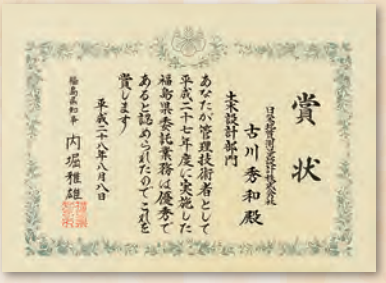
受賞年：平成27年
発注者：平田村長



受賞年：平成28年
発注者：JRC代表取締役社長



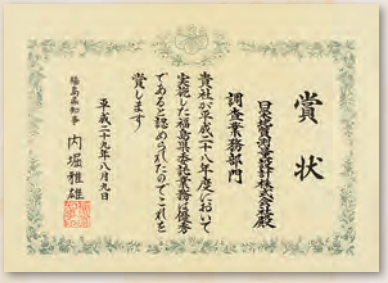
受賞年：平成28年
発注者：福島県知事



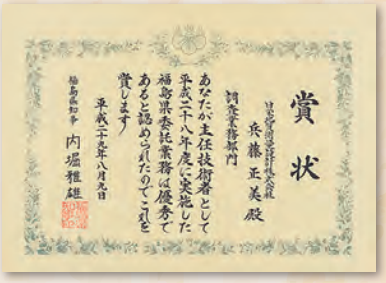
受賞年：平成28年
発注者：福島県知事



受賞年：平成29年
発注者：いわき市長



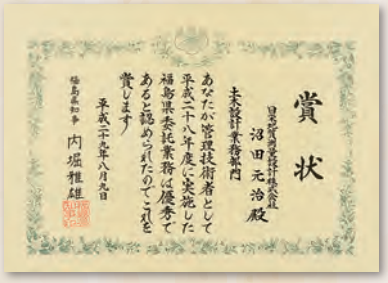
受賞年：平成29年
発注者：福島県知事



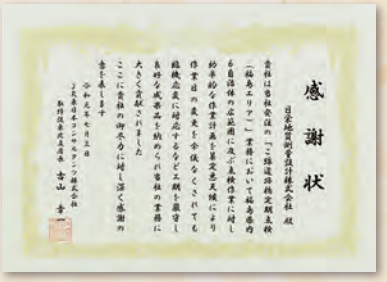
受賞年：平成29年
発注者：福島県知事



受賞年：平成29年
発注者：福島県知事



受賞年：平成29年
発注者：福島県知事



受賞年：令和元年
発注者：JRC東北支店長

表彰状

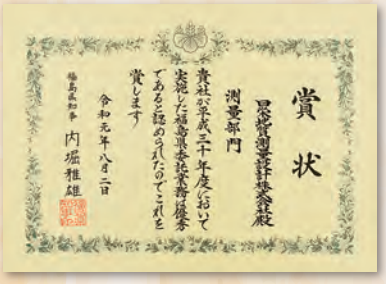
～令和3年


賞状
日栄地質測量設計株式会社
調査部門
佐藤典仁殿
あなたが主任技術者として平成三十年度に実施した福島県委託業務は優秀であると認められたのでこれを賞します
令和元年八月二日
福島県知事 内堀雅雄

受賞年：令和元年
発注者：福島県知事


賞状
日栄地質測量設計株式会社
調査部門
あなたが主任技術者として平成三十年度に実施した福島県委託業務は優秀であると認められたのでこれを賞します
令和元年八月二日
福島県知事 内堀雅雄

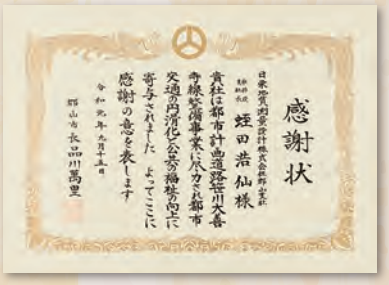
受賞年：令和元年
発注者：福島県知事


賞状
日栄地質測量設計株式会社
測量部門
貴社が平成三十年度において実施した福島県委託業務は優秀であると認められたのでこれを賞します
令和元年八月二日
福島県知事 内堀雅雄

受賞年：令和元年
発注者：福島県知事


賞状
日栄地質測量設計株式会社
測量部門
阿部和之殿
あなたが主任技術者として平成三十年度に実施した福島県委託業務は優秀であると認められたのでこれを賞します
令和元年八月二日
福島県知事 内堀雅雄

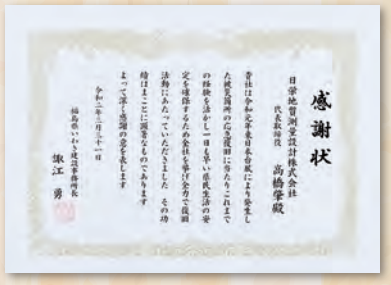
受賞年：令和元年
発注者：福島県知事


感謝状
日栄地質測量設計株式会社
様
貴社は都市計画道路西川大春寺線整備事業に尽力され都市交通の円滑化に多大なご寄与されました よってここに感謝の意を表します
令和元年九月十五日
郡山市長 品川萬里

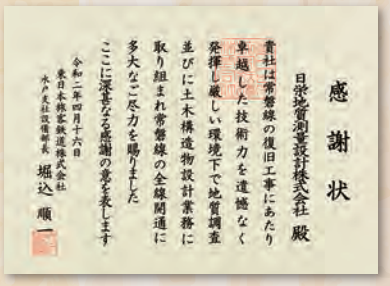
受賞年：令和元年
発注者：郡山市長


感謝状
日栄地質測量設計株式会社殿
貴社は令和元年台風第十九号（ハギビス）の被害に際し迅速かつ的確に災害応急対策・応急復旧及び支援活動などにあたられ被災地の復旧・復興に大きく貢献されました
ここに深く感謝の意を表します
令和二年三月十六日
国土交通省 東北地方整備局長
佐藤克英

受賞年：令和２年
発注者：国交省東北地方整備局


感謝状
日栄地質測量設計株式会社
代表取締役 高橋学殿
貴社は令和元年東日本台風により多大な被害を受けた被災自治体の応急復旧に当たりこれまでの移転を活かし一日も早い住民生活の安定を確保するための全社を挙げての復旧活動にあたっていただきました その功績はまことに顕著なものであります
よって深く感謝の意を表します
令和二年二月二十一日
福島県いわき建設事務所長 塩江勇

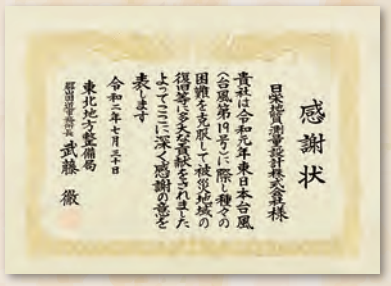
受賞年：令和２年
発注者：いわき建設事務所長


感謝状
日栄地質測量設計株式会社 殿
貴社は常磐線の復旧工事にあたり卓越した技術力を遺憾なく発揮し厳しい環境下で地質調査並びに土木構造物設計業務に取り組まれ常磐線の全線開通に多大なご尽力を賜りました
ここに深甚なる感謝の意を表します
令和二年四月十六日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社設備部長 堀込順一

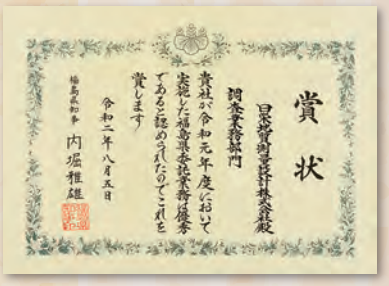
受賞年：令和２年
発注者：JR水戸支社設備部長


感謝状
日栄地質測量設計株式会社様
貴社は令和元年東日本台風に際し種々の困難を克服し被災地域の復旧等に多大な貢献をされました よってここに深く感謝の意を表します
令和二年七月三十日
東北地方整備局
菅沼真澄

受賞年：令和２年
発注者：国交省東北地方整備局


感謝状
日栄地質測量設計株式会社様
貴社は令和元年東日本台風（令和元年第19号）に際し種々の困難を克服して被災地域の復旧等に多大な貢献をされました よってここに深く感謝の意を表します
令和二年七月三十日
東北地方整備局
武藤徹

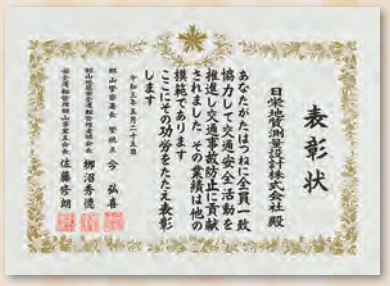
受賞年：令和２年
発注者：国交省東北地方整備局


賞状
日栄地質測量設計株式会社殿
調査業務部門
貴社が令和元年度において実施した福島県委託業務は優秀であると認められたのでこれを賞します
令和二年八月五日
福島県知事 内堀雅雄

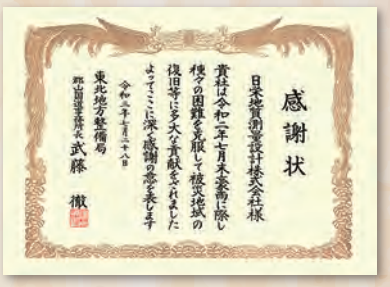
受賞年：令和２年
発注者：福島県知事


賞状
日栄地質測量設計株式会社
小檜山泰殿
調査業務部門
あなたの主任技術者として令和元年度に実施した福島県委託業務は優秀であると認められたのでこれを賞します
令和二年八月五日
福島県知事 内堀雅雄

受賞年：令和２年
発注者：福島県知事


表彰状
日栄地質測量設計株式会社殿
あなたがたは社に全員一致協力して交通安全活動を推進し交通事故防止に貢献されました その業績は他の模範であります
ここにその功労をたたえ表彰します
令和三年五月二十八日
郡山警察署長 今弘幸
柳沼春徳
佐藤修朗

受賞年：令和３年
贈呈者：郡山警察署長


感謝状
日栄地質測量設計株式会社様
貴社は令和二年七月未豪雨に際し種々の困難を克服して被災地域の復旧等に多大な貢献をされました よってここに深く感謝の意を表します
令和二年七月三十日
東北地方整備局
武藤徹

受賞年：令和３年
発注者：郡山国道事務所

社屋建設のあゆみ

旧本社ビル完成
（昭和50年８月）
旧平北白土字東原前1-20
（区画整理前住所）





１Ｆ 営業部／２Ｆ 測量部／３Ｆ 設計部・地質調査部
その後、増員となり地質調査部は向かい側敷地へ移動

本社新社屋完成
（平成５年８月）
いわき市平作町1-3-2



■平成５年当時
１Ｆ 営業部
２Ｆ 地質調査部・工事部
３Ｆ 測量部
４Ｆ 設計部
５Ｆ 総務部・役員室

■令和３年現在
１Ｆ 会議室
２Ｆ 資料室
３Ｆ 社内会議室・休憩室
４Ｆ 技術部（測量課・設計課・地質調査課）
５Ｆ 総務部・役員室

旧郡山支社ビル完成
(昭和57年７月)
郡山市開成３丁目



■昭和60年当時
１Ｆ 喫茶店「601」※郡山市内におけるピザ宅配の元祖
２Ｆ 経理課・営業課(社長は支社在籍)
３Ｆ 技術部(測量課、設計課、都市開発課)
※地質調査課は隣接する貸事務所に
４～６Ｆ 賃貸マンション(５～６Fの大半は独身社員寮として使用、約７畳の洋室１ルームを２名で使用)

■平成23年東日本大震災当時
１Ｆ 書庫兼倉庫
２～３Ｆ 学習塾
４Ｆ 営業課、地質調査課、測量課、設計課
５～６Ｆ 賃貸マンション

震災により移転
(平成23年８月)
郡山市中野1-54-23



■令和３年現在
１Ｆ 営業課・会議室
２Ｆ 技術部(設計課・測量課・地質調査課)

各課紹介



いわき 営業課
次長　鷺 美由紀

本社営業課は、営業部の中枢として各事業所の統括を担いながら、拠点であるいわき市内の官公庁を中心に営業活動を展開しています。

主に、男性社員が入札や顧客訪問、業務の積算や見積書作成等を担当し、女性社員が入札や契約に関わる書類作成等の事務処理を担当する分業体制になっています。長年に渡り培ってきた営業理念を承継しつつ、各自個性を生かしながら、受注拡大に日々尽力しています。

この50年で、受注環境はもとより技術や手法など、様々な面において変遷がありました。今後も社会環境に寄り添った提案を心掛け、顧客満足度No.１を目指し、邁進していきたいと思っております。



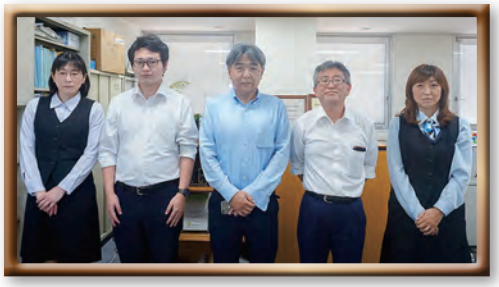


経営企画部
次長　佐藤 雅浩

総務課は、人事に関する事項、商業登記・行法登録に関する事項、社会保険等福利厚生に関する事項など多岐にわたり、他の部署が扱わないけれども会社にとって必要不可欠な業務すべてを受け持っています。

近年、当社が掲げる「従業員満足度・顧客満足度地域No.１を目指す」目標実現のためこれまで取り組んできた職場環境改善をさらに推し進め、より働き易く充実感をもって従業員が日々の業務に取り組めるように邁進していきます。

経理課は、資金計画、入出金管理、決算に係る事項等、会社で扱うお金に関することすべてを受け持っています。当社が掲げる目標実現のため、中長期を見据えた資金計画を立案し、従業員が安心して業務に従事できる体制づくりをお金の面からバックアップしていきたいです。





原町営業所
所長　佐藤 健二

原町営業所です。 皆さん、原町営業所に来られたことはありますか？ 営業所は昭和54年10月に開設され、当時のままのプレハブ２階建て。１階は営業所として、２階は技術部として、ここ相双地区の震災復興、社会資本整備のために全力を注いでおります。

また、敷地内に同じようなプレハブ２階建てがあり、震災後は社宅として提供されたこともありました。（原町で腕を磨きたい方、ココ空いてますよ…）

原町営業所は、旧相双２郡から楢葉と広野を除いたエリアを担当。原発事故の影響で役場が避難して、一時は埼玉、会津若松、郡山など…今でも双葉町がいわき市にあったり、結構広いのです。だけど、震災により増えた受注額を維持しようとするとなかなかしんどい。そう簡単にはいかないのです。皆さんの協力が必要なのです。今後とも広い心と大きな愛で原町営業所を助けてください。原町営業所からの協力要請でした。イェーイ✌





いわき 地質調査課
次長　小桧山 孝

本社地質調査課は、ベテランから若手まで男子５名・女子２名の精鋭により、地質調査の試験・計測、現場管理・報告書執筆等を行っております。各課員は人柄が良く、周りから信頼される人材が揃っており、皆意欲的に業務に取り組んでおります。

地質調査業務は、幅広い知識･経験が必要であるため、今後の目標としては「個々の技術力アップ」で､物事を様々な角度で考えられる技術力を身に付け、地質的なコンサルティングができる技術者集団を目指しています。そのためには健康な体と心が第一で、仕事と遊びのバランスを取った働き方でがんばっていきたいと思います。





いわき 設計課
課長　會川 和哉

本社設計課では、主に道路部門、河川部門、砂防関連部門、公園緑地・宅地造成部門、上下水道部門、防災・維持管理部門などの計画・設計を行い、社会資本整備に貢献しています。

課の雰囲気は、アットホームで仕事中は真剣に、皆で協力し助け合っています。ベテラン技術者から若手技術者への技術継承も真っ只中で、四苦八苦しながら皆で一致団結して仕事に取組んでいます。

今後の目標は、弊社の技術力をもって地域社会に貢献できるよう、また社員が働きやすい職場づくりをしていきたいと思います。





いわき 測量課
課長　石井 清昇

私が入社したのは平成７年（25年前、当時29歳）で、バブルと呼ばれた景気の最後の頃でした。その時の課員は13名（女子社員含む）、本社３Fのフロアが測量課で、ひとり10件から15件の業務を行っていました。それぞれみんな個性があり、年齢が若かった（平均30代前半）ため、現場で喧嘩になったり、時には測量課の飲み会で当時の部長と言い合いになったりと毎日なにか事件が起きるような課でした。

現在課員は７名で頑張っていますが入社当時に比べると、測量機器の進歩が早く半分の人数でもたくさんの業務を遂行することが出来ています。ドローンのような新技術も取り入れ、日々勉強の中精進して測量課の目標を達成できるよう頑張りたいと思います。



各課紹介



会津若松営業所
所長　小松 裕二

当社営業部は、いわき本社管轄（本社、原町営業所、茨城営業所）、郡山支社管轄（支社、福島営業所、白河営業所、会津若松営業所、喜多方営業所）に区分されています。

私が担当しているエリアは、会津地方全体（喜多方、会津若松、南会津の３建設事務所管内）で会津若松営業所を拠点として活動しています。

活動拠点は、それぞれ異なっていますが常に連絡等を密に取り合い、和やかな雰囲気の中にも厳しく、時には朗らかにお互いを気使い思いやりながら業務を励行しているのではないかと感じています。

私は日栄地質測量設計㈱に入社してまだ５年ではありますが、地質調査業等には40年近く従事しています。その間に技術職（10年）、営業職（30年）を経験してきましたがまだまだ力量不足を感じております。特に話術等に関しては苦手意識が強く営業職には不向きなのではないかと感じる自分がいますがその苦手意識を改善しつつ、営業部そして日栄地質測量設計㈱の一員として貢献できるようにスキルアップを図りながら精進していきたいと思います。





郡山 営業課
次長　武田 仁

当課の担当している得意先は、福島県県中・県南建設事務所、21市町村、国土交通省郡山国道事務所、民間事業者と数多く、技術部の方々にも積極的に営業活動に協力していただいております。その為、課の垣根を越えて綿密なコミュニケーションをとっております。

常に前向きに仕事をこなしており、忙しい中でも各員ユーモアたっぷりに過ごすことを心がけております。





郡山 地質調査課
課長　仁井田 成展

郡山調査課は私の知る限り、北は青森、南は山梨、西は福井、東は相馬～いわきと東日本を動き回り、福島県はもちろん制覇。また、片道1時間半は当たり前、山・川・雪越え、標高差1000m・気温差40℃と社内随一の機動力を生かしたチームです。この「チーム郡山調査」を支えるプロボーラー（ボーリング屋）は、喜多方、郡山、大玉、八王子！？と様々なネットワークをフル活用して集められた「精鋭部隊」と共にどんな現場でも待ち構えています。



チーム創立50周年、持ち味のフットワークとネットワークを生かして、今後も日栄を引っ張り、社会に貢献、大躍進して行きます!!



郡山 測量課
副部長　矢吹 美成

創立50周年に立ち会える私たちは、とても幸せです。今まで応援ご協力して頂いた諸先輩、協力会社様、課員の家族に、この場を借りて御礼申し上げます。測量課には20代から60代まで７名が在籍し、国土形成の基礎「地籍調査業務」をはじめ土木農林、再生化エネルギー関係など幅広い業務に携わっています。私たちは定期的に昼食会の開催や毎年実施の交通事故防止コンクールで無事故を達成しています。今後は、ＵＡＶを用いたＩＣＴ業務、広い視野を持ちスキルアップのため資格取得にも積極的に取り組みます。安全さらに環境への配慮を忘れず、丁寧で迅速な対応を心掛け、私たちは常に夢を持って「堅実に、ダイナミックに」地域№１を目指します。





郡山 設計課
次長　古川 秀和

支社設計課の業務内容は、道路、橋梁、開発業務（道路設計、構造物設計、橋梁設計、造成設計、開発申請、橋梁補修設計、橋梁点検、付属物点検、JR橋梁点検など）に係る調査、計画、設計、維持管理を担当しています。業務中は、毎週ミーティングを実施し工程管理や業務の問題点に対して効率良く効果的に進める方法や日常的に気づいたことを全員で話しています。

今後の目標として、これからの設計業務は①積極的な技術提案、②品質管理、設計成果品の向上、③多種多様な検討と総合的な判断力等が求められるため、コンサルティングエンジニアとしてのレベルを向上し、先人たちが築き上げた技術と知識を次の世代に伝承し100年企業を目指して全員の力を合わせ（ワンチーム）で頑張っていきます。



写真で振り返る50年のあゆみ

昭和56年８月　創立10周年

















昭和59年５月11日
社員旅行（那須）



昭和62年５月22日
社員旅行（北海道）



平成元年６月９日
社員旅行（山梨）



平成２年５月11日
社員旅行（山形）



平成３年５月24日
社員旅行（栃木）



平成３年８月　創立20周年























平成３年９月　運動会　会場：いわき













平成４年５月11日
社員旅行（オーストラリア）



平成５年５月28日　社員旅行（伊豆）





平成６年５月20日
社員旅行（宮城）



平成７年５月
社員旅行（ハワイ）











平成７年10月　第５回運動会　会場：郡山







































平成８年８月10日
いわきおどり





平成８年９月28日
ゼロタイガース早朝野球大会優勝



平成９年５月
社員旅行（バリ島）







平成９年８月９日
いわきおどり

平成９年９月27日　運動会　会場：郡山





















平成10年８月10日
いわきおどり







設計課　暑気払い

キャンプ







野球大会
ルーキーZ（郡山）



交流試合
ゼロタイガースVS.ルーキーZ









平成21年４月１日
入社式

平成22年７月30日
鈴木社長送別会





平成24年　社員旅行（天童）















平成25年　社員旅行（札幌）















平成25年11月９日　芋煮会（郡山）





平成26年　社員旅行（沖縄）





















平成26年８月22日、27日　創立43周年式典



いわき

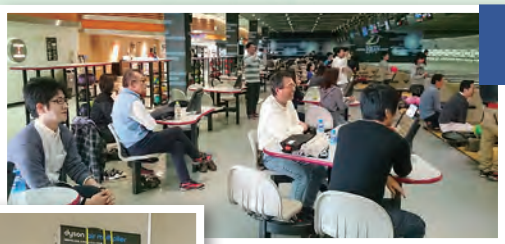


郡山





平成27年４月18日　ボウリング大会（郡山）







平成27年　社員旅行（九州）

















平成27年８月28日　創立44周年式典（ハワイアンズ）













平成27年10月３日　ゴルフコンペ





平成27年10月28日　芋煮会（郡山）





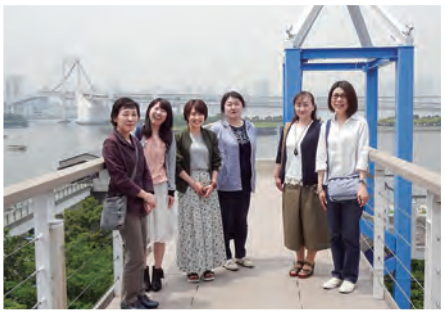




平成28年４月１日　入社式



平成28年　社員旅行（東京・鎌倉）













平成28年８月27日　創立45周年式典（磐梯熱海ホテル）













平成28年９月24日　ソフトボール大会・BBQ（いわき）

















平成28年11月26日　ゴルフコンペ







平成29年　社員旅行（函館）













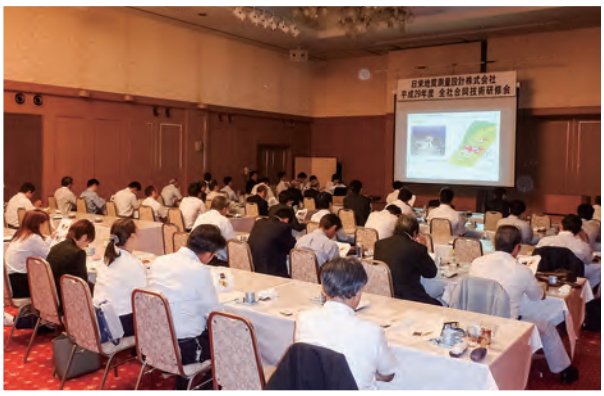




平成29年８月26日　創立46周年式典（茨城県五浦ホテル）

















平成29年10月21日　BBQ（いわき）









平成30年４月２日　入社式







平成30年　社員旅行（京都・伊勢）

















平成30年８月25日　創立47周年式典（岳温泉）















平成30年９月22日　ボウリング大会（いわき）









平成30年 ゴルフコンペ



令和元年４月１日　入社式





令和元年　社員旅行（四国）

















令和元年８月31日　創立48周年式典（小名浜オーシャンホテル）















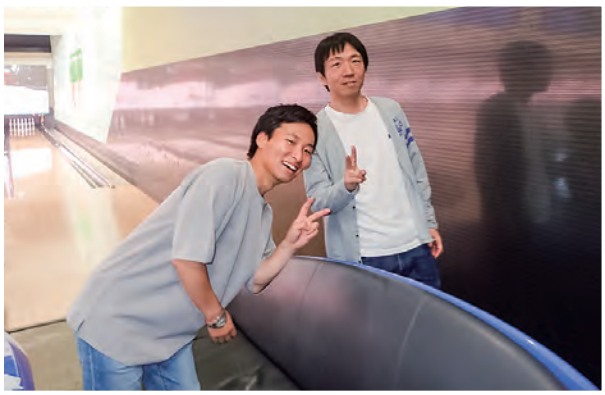


令和元年９月21日　ボウリング大会（郡山）







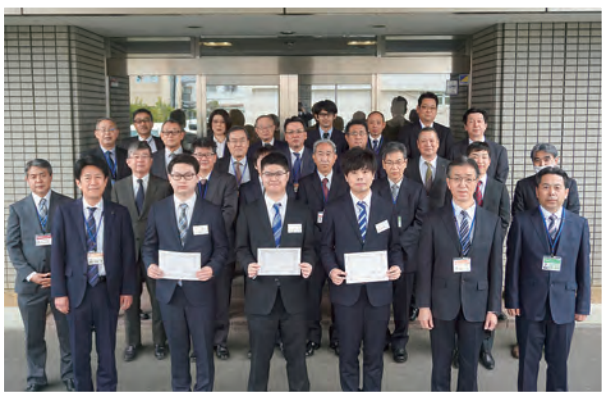








令和２年４月１日　令和２年度入社式





令和２年８月28日　創立49周年式典（リモート）











いわき本社

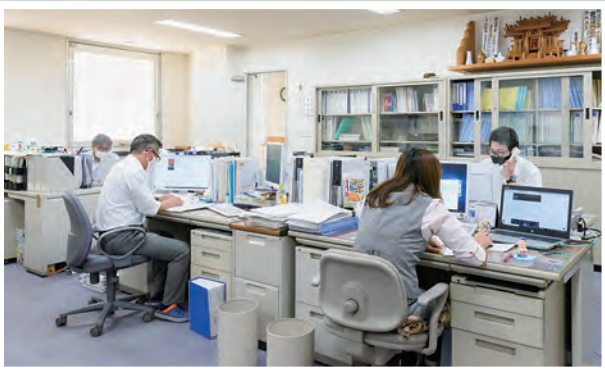


平成５年当時

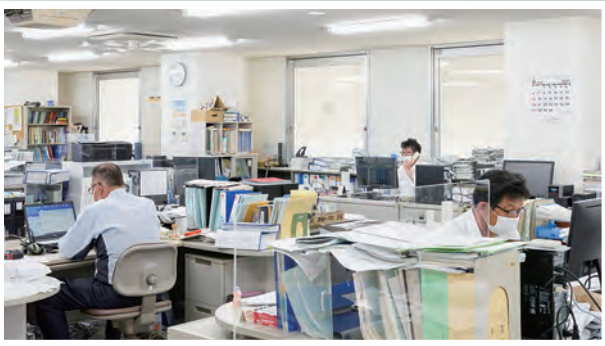


令和３年現在



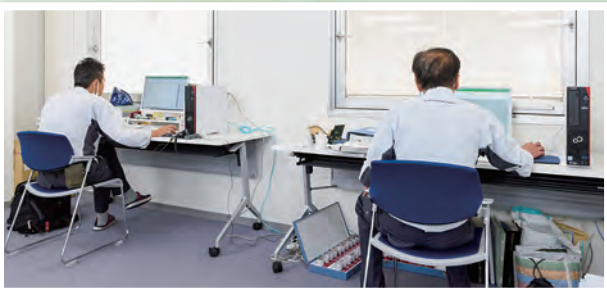












旧郡山支社ビル









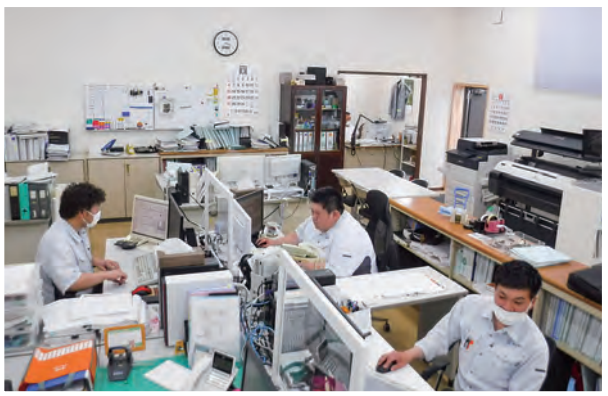


郡山支社













未来への決意



測量課　課長
門馬　誠
次世代が働きやすく「仕事、会社がすき」と思えるような環境を整えていきたい！

情報システム課 課長
松本　光正
社内作業のサポートを、これからも行っていきたい。





総務課
西郷　祥広
一歩一歩確実に成長していきたい。



地質調査課　主任
滝田　武司
何事にもワクワク感を持って取り組む！



経理課　主任
大和田　亜由美
海の近くにセカンドハウスを持ちたい。



設計課　課長代理
吉田　裕哉
技術士をとる。

地質調査課
金成　浩莞
仕事を続けられるよう頑張りたい。



設計課　係長
會川　みずほ
50年後も家族が健康でありますように…。





原町営業所　**遠藤　千春**
健康第一で何事も頑張る!!

設計課
山田　浩平
周りから頼られるような人間になる。





営業課　課長代理
横山　雅聡
更に50年後に存続できる会社にする!!



設計課　主任
三瓶　留美
管種別・地域別全ての配管図を取得する。

測量課
永塚　早紀
少しでもみなさんのサポートを出来るように頑張りたい。





測量課　係長
宇佐美　貴徳
息子達と一緒に晩酌するまで頑張る！



設計課　**笠間　丹二**
頑張って昇格したい！

設計課
小柳　雄基
部長になりたい！



設計課
宮澤　林太郎
最終的に幸福でありたい。



～100年企業に向けて～



測量課　小島　広駿

これからも１日１日精進し会社の戦力になっていきたいです！



設計課

髙木　潤平

色々な資格試験に挑戦していきたい！



地質調査課　主任

髙羽　瑞栄

100周年のときもプロジェクトメンバーに選ばれますように。

測量課

寺島　佑哉

誰にも負けない技術者になりたい!!



地質調査課　係長

野木　隆生

一歩一歩「堅実に」日栄ブランドを「誇りに」100年企業を目指す！





地質調査課　係長

橋本　桂弥

会社を全国へ広げたい。



測量課　主任

根本　聖隆

大きな怪我無く過ごしたい。

営業課　主任

関口　悠

心身の健康維持!!と、お財布の健康保持…（*´艸`）。





設計課　課長代理

大平　治置

健康でいる。



地質調査課

安齋　絵美

お局様と呼ばれないよう、みんなで楽しく仕事をしていたい。



設計課　課長

西尾　久貴

これからも未来へ向けて挑戦し続ける。

測量課　課長

今野　伸一

100年企業を見届けるまで長生きする。



地質調査課

佐藤　峻平

より多くの資格を取得し、技術力を高めていきたい。



設計課　伊藤　雅隆

難易度高い資格の取得と何歳になっても向上心をもって業務に励みたいです。





測量課

阿部　文義

技術士資格の獲得！



測量課

西尾　永美子

孫ができるまでがんばります。



営業課　課長代理

柴宮　健司

委託相談先地域No.1になる！

新・企業ロゴマーク

コンセプト：【「夢」をもってお客様・地域と共に躍進していく】

モチーフは独自性をもたせるため社名頭文字「N」
右上に向かう「N」は「夢」をもって躍進していく姿を表現。
また、「N」を包み込む表現はお客様や地域に支えられながら、共に発展していくという意味を込めております。
スクエアな形状の一部を角丸にすることで建設系企業としての「堅実感」と「柔軟性」を表現。
水色は「海・川」、青色は「空」、緑は「陸・自然・環境」を象徴しております。

Nichiei
Engineering Consultants

Nichiei
Engineering Consultants

総合建設コンサルタント
日栄地質測量設計株式会社

Designer : Kazunori Ogata

50周年記念ロゴマーク

コンセプト：【自然と調和しながら歴史を紡ぐ会社へ】

50の数字と地球をデフォルメしてデザインしたイラストを組み合わせることで、エコや自然をイメージさせる表現にしました。
企業として、地球環境と共存していく意識の高さを表現しています。ロゴマークを通じ、福島県の環境が未来へ向け、より良くなっていくことを願うメッセージが含まれています。

50TH
ANNIVERSARY
Since 1971

50TH ANNIVERSARY
Since 1971

Designer : Masao Moriya

◆ Logo project team
Hiroyuki Ishida
Haruki Oohira
Emi Anzai

◆ Director
biz-up!
Masaya Okudo



編　集　後　記

創立50周年を迎え、記念の一環として「日栄のあゆみ～100年企業に向けて～」を発行いたしました。

昨年、創立50周年プロジェクトを発足し、その中の記念誌担当メンバーを中心に作成を進めて参りましたが、編集にあたり多くの方々にご協力いただきました。また、編集・印刷等をお願いした株式会社ネクスト情報はましん様にも大変お世話になりました。

この度ようやく創立50周年記念誌発行にたどり着きましたこと、記念誌担当一同感謝しております。同時に、弊社のこれまでのあゆみを皆様にお伝えする役を担えたことを大変光栄に存じます。



創立50周年プロジェクト記念誌担当一同

創立50周年記念誌
日栄のあゆみ～100年企業に向けて～

発行日　令和３年８月24日

発行　日栄地質測量設計株式会社
福島県いわき市平字作町一丁目３番地の２
TEL:0246-21-3111 FAX:0246-21-3693

担当　阿部 和之・宇佐美 貴徳・髙羽 瑞栄

編集・印刷　株式会社ネクスト情報はましん